

平成25年度予算を可決

― 予算審査特別委員会を設置し審査 ―

本定例会初日に予算審査特別委員会(議長を除く25議員で構成)を設置し、当委員会において平成25年度の一般会計及び特別会計10件、企業会計2件の計13件の審査を行いました。

各予算案はいずれも原案可決で、予算審査における主な質疑及び意見等(定例会最終日の委員長報告の概要)は次のとおりです。

予算審査特別委員会



斉藤 伸一 副委員長



大滝 豊 委員長



予算審査特別委員会

「健康づくりセンター管理運営事業」では、指定管理料が前年度より上がっていることについて多くの質疑があった後、指定管理制度の基本的考え方に基づく契約内容の見直しや、他市の先進事例を参考に市の負担の軽減を図るような検討を求める等の意見集約を行った。



糸魚川市健康づくりセンター
はびねす(須沢地内)

「スキー場指定管理料」では、スキー場は市の施設であることから大規模な施設修繕等は指定管理料に含めるべきでないとの意見に対し、平成26年度に指定管理者制度について見直しを行う予定であるとの答弁があった。

「救急救命推進事業」では、救急救命士の確保に関する質問に対し、できるだけ有資格者を優先的に採用する等の配慮を行い、早く目標数を確保するよう努めていきたいとの答弁があった。

小学校管理費及び中学校管理費に関連した中で**「市内小中学校に災害対応用として配備されている可搬式発電機」**の一部が他施設に配置され、学校での災害時対応に問題が生じかねなかったことが委員から指摘され、委員会として、適切な配備、管理を強く求める意見集約を行った。

「小学校暖房設備整備事業」では、市内小学校の設備改修において灯油暖房機28台を整備するという説明に対し、市はペレットストーブを推奨する立場もあることから、同方式のストーブの導入を前向きに検討するよう委員会として要望した。

「柵口温泉事業」では、権現荘の指定管理者制度への移行について、当初は平成24年度末に指定管理者の募集に入る予定だったものが現時点においても募集要項やスケジュール等が明確になっていないのは大変遺憾と委員から指摘があり、スケジュールや施設改修計画、財源対策等の早期決定を強く求める意見集約を行った。